

令和6年度特別展

# 矢を放て!

～ 関東の弓矢、  
一万年～



令和6(2024)年

10月8日(火)

～12月1日(日)



開館時間：午前9時～午後5時 休館日：月曜日(休・祝日の場合は開館)

観覧料：一般(区内在住・在学300円/区外500円)

中学生以下(区内在住・在学100円/区外200円)

未就学児、65歳以上の方、障がい者(付き添い1名)無料 ※要証明

子ども(中学生以下)無料公開日：毎週土曜日、休日、祝日 ※要年齢確認できる書類

 **大田区立郷土博物館**  
Ota City Folk Museum

〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号

TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283

- 1. 有舌尖頭器/神奈川県三ノ宮・下谷戸遺跡 神奈川県教育委員会所蔵
- 2. 石鏃/東京都多摩ニュータウン/No597遺跡 東京都教育委員会所蔵
- 3. 石鏃/栃木県那がた駅南遺跡 栃木県所蔵
- 4. 打製石鏃/神奈川県中里遺跡 小田原市教育委員会所蔵
- 5. 有孔磨製石鏃/神奈川県中里遺跡 小田原市教育委員会所蔵
- 6. 牙製鏃/群馬県新保田中村前遺跡 群馬県所蔵
- 7. 貝鏃/神奈川県関口河原遺跡 神奈川県立歴史博物館所蔵
- 8. 銅鏃/神奈川県愛甲宿遺跡 厚木市所蔵
- 9. 銅鏃/栃木県山王寺大塚塚古墳 栃木市教育委員会所蔵

- 10. 鉄鏃/群馬県中高瀬観音山遺跡 群馬県所蔵
- 11. 鉄鏃/東京都葛塚古墳 当館所蔵
- 12. 鉄鏃/神奈川県吉妻塚古墳 厚木市所蔵
- 13. 鉄鏃/千葉県草刈1号墳 千葉県教育委員会所蔵
- 14. 鉄鏃/群馬県下増田上田中1号墳 安中市所蔵
- 15・17. 鉄鏃/群馬県生品西浦田区1号墳 群馬県所蔵
- 16. 鉄鏃/東京都多摩川台1号墳 江戸東京たてもの園所蔵
- 18. 鉄鏃/東京都落川遺跡 東京都教育委員会所蔵

- 19. 鉄鏃/東京都多摩ニュータウン/No91B遺跡 東京都教育委員会所蔵
- 20. 鉄鏃/千葉県市原条里制遺跡 千葉県教育委員会所蔵
- 21・22・23. 鉄鏃/東京都葛西城址 葛飾区教育委員会所蔵
- 24. 鏃/森家弓術関連資料 千葉県立中央博物館大多喜城分館所蔵
- 25. 弓を持つ武装男子形土師器/群馬県今井神社2号墳 群馬県所蔵
- 26. 紙本着色新田大明神縁起繪 上巻(部分)  
新田神社所蔵 株式会社 半田九清堂提供
- 27. 鉄炮玉/東京都八王子城址 八王子市教育委員会所蔵



# 令和6年度特別展 矢を放て! ~ 関東の弓矢、一万年 ~

弓矢には、一万年にも及ぶ長い歴史があります。縄文時代の始まりと相前後して出現し、小動物の狩猟に適した道具として考案されたと考えられています。弥生時代以降は戦闘における武器としての用途が重要になります。ただし、実用的な武器としてだけでなく、武威を象徴する道具としての役割もあり、古墳に副葬された大量の弓矢や『平家物語』に描かれるエピソードなどからも知ることができます。その後、戦国時代における鉄炮の伝来によって長い射程を持つ実用的な武器としての重要性は大きく減退しますが、武術の一つである弓術や、神事における実演という形で、現在までその命脈を保っています。

弓矢はその長い歴史の中で、様々な形や材質のものが現れ、移り変わっていきます。こうした弓矢の多様性には、当時の社会の中で弓矢が果たした役割や重要性、弓矢の製作に関わる技術の変革、弓矢を製作する材料の入手、弓矢を製作あるいは保有した集団の伝統など、様々な要素が反映されています。これらの解明は重要な歴史学的課題です。

大田区内でも、様々な時代の弓矢に関わる資料が遺跡から出土し、また、文化財として継承されてきました。今回の特別展は、そうした資料を中心としつつ、関東周辺の資料を加えることで、弓矢の長い歴史と多様性を見直す機会とすることを目指します。とくに東京都の指定文化財で新田神社所蔵の「紙本着色新田大明神縁起絵」は、南北朝期の弓馬合戦の様子が描かれた貴重な絵巻物で、東京都内の博物館では修理後、初めてのお披露目となります。この機会に、当博物館で弓矢の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



黒曜石製の石鏃 東京都大谷・下谷遺跡  
縄文時代 当館所蔵



銅鏃 群馬県頼母子大塚山古墳  
古墳時代 東京国立博物館所蔵  
Image:TNM Image Archives



東京都指定文化財  
紙本着色新田大明神縁起絵 下巻(部分)  
江戸時代 新田神社所蔵 株式会社 半田九清堂提供  
※会期中に資料の入替えあり。  
上巻:武蔵野合戦の場面 / 10月8日(火)~11月10日(日)  
下巻:義興が怨霊となり現れる場面 / 11月12日(火)~12月1日(日)

**会期中の関連催事** ①~③は9月21日(土)午前8時30分から電話受付(先着順)、④は申込不要。直接展示会場へ。

## 1 講演会

第1回 10月19日(土)

「弓矢の誕生—有舌尖頭器から石鏃出現の意義を探る—」

講師:白石浩之氏(愛知学院大学名誉教授)

第2回 10月26日(土)

「多摩川流域からみた縄文・弥生 南関東ヤジリ論」

講師:寺前直人氏(駒澤大学文学部教授)

第3回 11月2日(土)

「古墳時代の弓矢文化—関東を中心にして—」

講師:杉山秀宏氏((公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 資料部資料2課長)

第4回 11月16日(土)

「日本古代・中世の弓矢の位置—軍陣使用を中心として—」

講師:近藤好和氏(有職故実研究家)

第5回 11月30日(土)

「南関東の歩射と流鏑馬」

講師:鈴木通大氏(大和市文化財保護審議会委員、東京都民俗芸能大会実行委員)

[各回共通] 午後2時~3時30分、定員50名、無料

## 2 遺跡歩き・まち歩き

第1回 10月14日(月・祝) 午前10時~12時

「多摩川台公園内の古墳をめぐる」

第2回 10月27日(日) 午後2時~4時

「新田神社とその周辺をめぐる」

第3回 11月4日(月・休) 午後2時~4時

「永寿院とその周辺の遺跡をめぐる」

[各回共通] 定員20名、無料

## 3 赤ちゃんと一緒に博物館へ

11月7日(木) 午前10時~12時、定員8組、無料

※対象:1歳以下のお子様とその保護者

## 4 展示解説

11月10日(日)、11月24日(日)

※両日とも同じ内容

[各回共通]

午後2時~、観覧料別途必要



※②遺跡歩き・まち歩き④展示解説以外の会場は、郷土博物館2階会議室。  
各催事の際、特別展を観覧される場合は別途観覧料が必要です。詳細は郷土博物館HPをご参照ください。

▶黒漆の櫛巻の飾り弓 神奈川県羽根尾貝塚  
縄文時代 小田原市教育委員会所蔵

**大田区立郷土博物館**  
Ota City Folk Museum

〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号 TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283

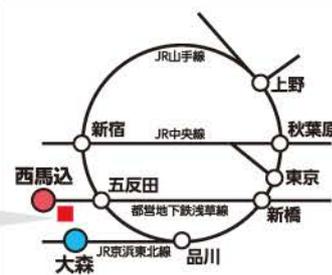
都営地下鉄浅草線

「西馬込駅」東口から徒歩7分

JR京浜東北線

「大森駅」北口改札から東急バス4番乗り場で

「荏原町駅入口」行に乗り、「万福寺前」下車徒歩2分



交通案内